

# I C T 活用牧草生産実証事業費

予 算 額	19,900千円 (前年度 - 千円)
うち道費	10,059千円 (前年度 - 千円)

## 1 事業の目的

酪農畜産地帯においては、高齢化や後継者不足など労働力の不足により、牧草の品質と収量確保に必要な草地の植生改善や、収穫調製作業に近い将来大きな支障を来すことが強く懸念される。

こうした中、現在、急速に進みつつある I C T の研究成果を早急に導入し、雑草部分をピンポイントで草地更新する技術などを実証・確立、普及する取組を進め、牧草生産における労働力の負担軽減と経営の効率化を図る。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区 分	事 業 内 容	予算額
現地実証事業費	○UAV、衛星のデータを活用し、牧草と雑草の判別を行い、それをもとにガイダンスシステムと自動操舵装置により、ピンポイントで草地更新を行う技術の実証・確立	19,524 ( 9,762)
現地実証事業推進費	○実証結果を取りまとめた啓発資料の作成・配布と地域におけるセミナーの開催	376 ( 297)
合 計		19,900 (10,059)

※地方創生対策推進費

## 3 事業実施主体

北海道

## 4 事業実施期間

令和元年度 (2019年度)

〔 担当：農政部生産振興局技術普及課 (内線 27-806)  
畜産振興課 (内線 27-757) 〕